

<ビジョン>

【ビジョン1】

これまでの富士見丘小学校・富士見丘中学校の伝統と特色を継承し、小中一貫教育校としてではなく、個々に小学校・中学校として改築します

【ビジョン2】

高井戸公園と隣接するなどの周辺環境を活かして、改築を機に、学習・スポーツ等の環境向上と、あわせて地域防災力の強化を図ります

【ビジョン3】

地域最大規模の公共施設である点を踏まえ、可能な限り小学校・中学校・地域が共用できる施設とするとともに、将来に渡って共存し続けられるよう、柔軟で効率的な施設とします

<目標>

目標Ⅰ.
多様な学び・活動の場と質の高い学習環境を備えた学校づくり

目標Ⅱ.
部活動の諸課題を克服し、生涯スポーツの拠点となりうる学校づくり

目標Ⅲ.
地域とともに歩む「新たな公共空間」として、地域の生涯学習を支援する学校づくり

目標Ⅳ.
高井戸公園等の良好な周辺環境と調和した学校づくり

目標Ⅴ.
小学校・中学校の一体的整備の利点を活かすとともに、将来に渡って使い続けられる柔軟で効率的な学校づくり

目標Ⅵ.
立地特性を活かし、安全・安心で、より高度な防災拠点となりうる学校づくり

<取組>

取組Ⅰ① コミュニケーションの場となる多目的スペースの確保

取組Ⅰ② ICT環境の充実

取組Ⅰ③ 集中して学習できる自習スペースの充実

取組Ⅱ① 中学校の校庭面積の拡大

取組Ⅱ② 校庭や体育館の地域開放の推進

取組Ⅱ③ 地域の特徴的なスポーツである硬式テニスコートの整備

取組Ⅱ④ 多用途に活用可能な体育館設備の整備

取組Ⅲ① 学校諸室の地域開放の推進

取組Ⅲ② 開放会議室の設置

取組Ⅲ③ 学校支援本部室の設置

取組Ⅳ① みどりあふれる良好な環境の積極的な活用

取組Ⅳ② 高井戸公園内の多目的広場を活用した運動環境の向上

取組Ⅳ③ 公園や神田川に近接した立地を踏まえた景観形成

取組Ⅴ① 小学校・中学校の領域を分けた独立性の高いゾーニング

取組Ⅴ② 一部諸室を小・中で共有化し多様な学習環境を提供

取組Ⅴ③ 学童クラブの校内配置と小学生の放課後等居場所の実施

取組Ⅴ④ 簡素で効率的な施設設計と維持管理コストの削減

取組Ⅴ⑤ 将来の児童生徒数の変化等に対応できる柔軟性の確保

取組Ⅵ① 学校専用部分と地域開放領域に配慮したゾーニング

取組Ⅵ② 避難場所に隣接した地域防災拠点機能の充実

取組Ⅵ③ 多様な利用者に配慮したすべての人にやさしい校舎

取組Ⅵ④ 敷地の外周道路等の整備を通じた地域の安全性向上

取組Ⅵ⑤ 安心して子どもたちが通える学校づくり

【ビジョン1】

これまでの富士見丘小学校・富士見丘中学校の伝統と特色を継承し、小中一貫教育校としてではなく、個々に小学校・中学校として改築します

【ビジョン2】

高井戸公園と隣接するなどの周辺環境を活かして、改築を機に、学習・スポーツ等の環境向上と、あわせて地域防災力の強化を図ります

【ビジョン3】

地域最大規模の公共施設である点を踏まえ、可能な限り小学校・中学校・地域が共用できる施設とするとともに、将来に渡って共存し続けられるよう、柔軟で効率的な施設とします



(目標 I)

多様な学び・活動の場と質の高い学習環境を備えた学校づくり

(取組①) 学年単位の集会や発表会等で活用でき、「えんげき」や地域文化活動の場ともなる多目的な活動スペースを確保し、充実したコミュニケーション活動を行うことのできる施設を整備します。

(取組②) 電子黒板やタブレット型情報端末などのICT教育環境を充実させ、児童生徒が自ら考え、判断し、表現する力を育む施設とします。

(取組③) 放課後等も活用可能な自習スペースを設けるなど、子どもたちが集中して学習できる施設整備を目指します。



(目標II)

部活動の諸課題を克服し、生涯スポーツの拠点となりうる学校づくり

(取組①) 狭小な現富士見丘中学校の校庭面積(3,286㎡)を拡充し、生徒の体育や運動部の活動環境を向上します。

(取組②) 校庭、体育館等の積極的な施設開放を推進し、学校部活動と社会教育が融合して実現できる諸施設整備を目指します。

(取組③) 富士見丘地域の特徴的なスポーツであり、学校指定部活動である硬式テニスのコート整備を目指します。

(取組④) 武道やダンスなど多用途に活用可能で、発表や観覧利用等に配慮した体育設備の整備を目指します。



(目標Ⅲ)

地域とともに歩む「新たな公共空間」として、地域の生涯学習を支援する学校づくり

- (取組①) 特別教室や多目的室等を可能な限り地域開放できるように、動線やゾーニングに十分な配慮を行います。
- (取組②) 学校と地域のつながりを重視した開放会議室を設置します。
- (取組③) 学校を核とした地域コミュニティを育てるための学校支援本部（地域学校協働本部）室を設置します。



(目標Ⅳ)

高井戸公園等の良好な周辺環境と調和した学校づくり

- (取組①) 高井戸公園のみどりあふれる良好な周辺環境を享受し、自然採光、自然通風を積極的に取り入れ、環境に配慮した施設計画とします。
- (取組②) 高井戸公園内に設置予定の多目的広場を小学校の運動場として活用するなど、学校や地域の運動環境の向上を図ります。
- (取組③) 公園や神田川と近接する立地特性を踏まえ、周辺環境と調和した景観形成に取り組みます。

(目標V)

小学校・中学校の一体的整備の利点を活かすとともに、将来に渡って使い続けられる柔軟で効率的な学校づくり

(取組①) 小学校・中学校の独立性を尊重し、両校の領域を分けたゾーニングを基本として計画します。

(取組②) あわせて、特別教室や多目的室、ラーニングセンター等は小・中学校で共有化・相互利用できるようにするなど、校内で自然な交流が生まれ、多様な学習環境を提供する施設計画とします。

(取組③) 学童クラブを学校内に設置するとともに、小学生の放課後等の居場所事業をあわせて実施し、放課後等に子どもたちが安心して伸び伸び過ごせる居場所を提供します。

(取組④) 敷地の与条件（容積率等の制約が厳しい点）を踏まえ、簡素で効率的な施設設計とし、あわせて小・中学校の一体的な管理等により維持コストの削減を図ります。

(取組⑤) 今後約80年以上使い続けられる施設であるために、将来の児童生徒数や地域の施設ニーズの変化等にも柔軟に対応できる施設計画とします。

(目標VI)

立地特性を活かし、安全・安心で、より高度な防災拠点となりうる学校づくり

- (取組①) 学校専用部分と避難所等地域開放領域に配慮した施設計画とします。
- (取組②) 避難場所である高井戸公園との連携に配慮し、**屋内運動場に冷暖房設備を設置するなど**、地域防災拠点としての学校施設の充実を図ります。
- (取組③) 地域開放や災害時の使用も想定し、子どもからお年寄りまで多様な利用者に配慮した施設計画とします。
- (取組④) 学校改築にあわせて、敷地外周の富士見丘通りと狭あい道路の拡幅や敷地内歩道の整備を進め、通学路の安全性の確保と避難場所へのアクセス強化を図ります。
- (取組⑤) 小学校移転に伴う通学経路の変更や一部児童の通学の長距離化へ配慮して、安心して子どもたちが通える学校づくりを進めます。

改築基本方針(案) ◆小学校・中学校・地域の相互利用イメージ

